



1 歳児クラス 1 2 月 第 2 回 「いたいのいたいのとんでけ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> ・保：「こんにちは一」と絵本を持って元気に登場。「すてん！」「痛いよー！」 ・講：「大丈夫！痛いの 痛いの 飛んでけ～！」のおまじない。 ・保：「あれ？痛くない！痛いの どこ行ったの？」とお話に入る。 	<p>教材</p> <p>★絵本 ★iPad(シアターセット)</p>	
読み方	<p>①擬態語や擬音、「痛いの 痛いの 飛んでけ」の言葉に興味が持てるように読み進める。</p> <p>②「痛いの」を探す場面では「どこかな？」「ここかな？」などと子ども達も巻き込んで読み進める。</p> <p>③キツネくんと場面では「痛いの 痛いの 飛んでけ」を子ども達と一緒に言ってみたり、身体をさすりっこするのも楽しい。</p>	<p>保育士の役割</p> <p>・絵本を持って登場。講師と会話する。</p>	

がくしゅうタイム

活動①	ねらい	書く	指示を理解して、子犬とキツネの間に真っすぐ線を引くことができる。
設問	イヌさんとキツネさんの手を仲良く繋いであげましょう		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「痛いのはどこにあったかな？」と問いかけてみる。 ・保：「こんにちは一」とプリント提示。 		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「イヌさんとキツネさん。お友達が見つかって良かったね。なにになに？二人で仲良くお散歩だって。そうさ…二人で仲良く手を繋いで行くと楽しいよ。イヌさんとキツネさんの手を繋いであげよう」と全員にプリント配布。 全員で、線を引く場所を確認しながら指でなぞる。 クレヨン提示。「よく分かるようにイヌさんとキツネさんの手をクレヨンで繋いであげよう」と見本行動を見せる。クレヨンの蓋を開け準備。「腕まくり♪クレヨンぎゅっ♪片手はポン（プリントを押さえる）」一連の動きをリズムに乗って確認。左の点から右の点まで「スタート。真っ直ぐ、真っ直ぐ…ストップ」をキーワードに、2本の線の真ん中を通ることを意識して力強い直線を引いていく見本を見せる。 ・講：「みんなも仲良く手を繋いであげられるかな？できる人！」と意欲を引き出し、クレヨンを配布。 ・子：講師見本同様、点から点を線で結んでいく。色を変えて繰り返し書いていく。 ・講：余裕があれば「見て！お空に虹がかかっているね。みんなで虹も描いちゃおうか？」と虹のアーチをなぞる見本行動。 ・子：子ども達も同様に虹の線にもチャレンジする。 ・講：頃合いを見て終了の合図「イヌさんキツネさん仲良く手を繋げたかな？見せて」と見せ合う。称賛。 「仲良くみんなでお散歩に行こうか？」と「スタート・ストップ」を合図に、リズムに乗ってお散歩を楽しむ。このまま活動②へ進む。 		
	<p>教材</p> <p>P 1 クレヨン ※提示用のプリントは必要に応じて拡大してご準備ください</p> <p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリント提示 ・プリント配布 ・クレヨン配布 ・必要に応じて個別指導 ・称賛 ・エレピ演奏 		
活動②	ねらい	数	シールの数を数えて「2 個」入ったお皿を選ぶことができる。
設問	おはじき「2 個」入ったお皿はどっち？選んでシール「2 枚」と交換。イヌさんとキツネさんに「1 つずつ」分けてあげましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・講：プリントを片手に「イヌさんキツネさんがお腹空いたって言うてるよ、何か美味しいものはないかな？」 		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保：「ありますよ」といちごシール提示。「いくつ欲しいですか？」 ・講：「イヌさんの分とキツネさんの分。1・2…2 個ください」 ・保：おはじき「こっち(5 個)とこっち(2 個)、2 個入っているのはどっち？」2 つの皿を提示して見せる。 ・講：前回同様 2 つの皿を見比べて「2 個」入った皿を選ぶ見本行動。 		
			<p>活動①と同じ</p> <p>教材</p> <p>活動①で使用した P 1 いちごシール(赤) 1 人 2 枚 おはじき・皿 ※2 個と 5 個それぞれ入った皿を準備する</p>

<p>※「こっちはいっぱい、こっちは？ 1・2…全部で2。だからこっち！」と確認し「2個」入った皿を指さす。</p> <p>シール2枚と交換し「イヌさんに1つ、キツネさんに1つ…仲良く分けっこ」と1対1対応でシールを貼っていく。(シールのゴミは皿の中)</p> <p>・子：講師の見本同様に「2個」入った皿を選んでシールを受け取り、1対1対応で貼っていく。</p> <p>・講：「仲良く1つずつ分けられたかな？」みんなで見せっこして称賛。「みんなにありがとうって言ってるよ。良かったね。そろそろお家に帰る時間だって。仲良く手を繋いで…またねーバイバイ！」とプリントを片付けて活動を終了する。</p>	<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはじきで入れた2つの皿(5:2)提示 ・子ども達におはじき「2個」入った皿を選ばせて、交換でシール2枚を配布する。 <p>※理解できない子には一緒に数えるなどフォローしていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・称賛 ・プリント回収
---	---

数チャレ	数	教材
設問		
活動内容	※＜活動②＞を数のチャレンジとします。	保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	おまじないの言葉を子ども達と一緒に言いながら読んだか
活動① 書く	クレヨンの持ち方、線の書き方の指導をクラスに合わせて行ったか
活動② 数	両方の皿にいくつ入っているか確認した後に比較行動を行ったか
数チャレ(5:2)	活動②に含む

楽習タイム♪

*** テーマ・生活 ***

お人形さんごっこ

- ・可愛いお人形さんを自分より小さい赤ちゃんに見立てて、先ずは大人も一緒になって声を掛け遊んでみましょう。

＜声掛け例＞

「〇〇ちゃん(お人形)かわいいね」「いい子(頭をなでる)」「ねんね(身体トントン)」「痛い痛い飛んでいけ」など

※男女問わず1歳頃から子ども達にとって移行対象としての「お人形」遊びは豊かな感受性を育み、遊び相手としても大切な存在となっていきます。

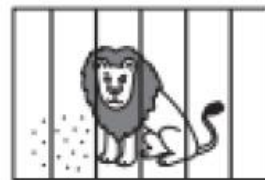


大人の真似っこが大好きな子ども達。生活の中でも大人が見本となって優しさ溢れることばをいっぱい使ってあげてくださいね。



今月のえかきリズム

*** おり ***



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

